

JR東海労大垣班ニュース

2013. 3. 1

発行責任者 吉田 隆夫

**年次有給休暇は100%発給しろ！
100%発給できる要員を配置せよ！
義務ばかり押しつけず権利を守れ！**

＜大垣運輸区の状況＞

大垣運輸区のある男性運転士を例にすると、2012年の4月～2013年3月31日まで94日の年休を申し込みました。しかし、1年間で14日しか発給されませんでした。彼に対する発給率は14%しかありません。これでリニアをアメリカに売り込むような一流企業と言えるでしょうか。

なぜ、これほど年休が出ないのでしょうか。地本と鉄事で開催された業務委員会では「要員は確保している」と話しています。要員が確保されているのに年休が出ないということは、大垣運輸区の勤務の作り方に問題があるのではないのでしょうか。特にX助役の采配が悪いと詰所では話されています。

大垣運輸区長は、社員が満足して年休を取得できる要員の配置に努力せよ！

東海労は、現在各職場での2012年度年休発給調査を実施しています。調査によって各職場（駅・運輸区など）の年休がどのくらい出ているのか明確になります。

東海労は、各職場の年休100%取得に向けて取り組みを強化します